No.２５０９１３

取扱説明書

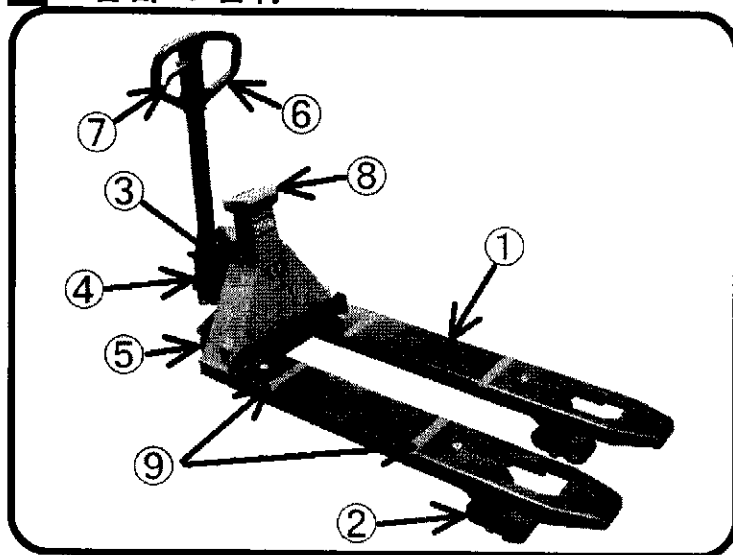
HAND PALLET TRUCK

（はかり付）

この度は、ハンドパレットトラックをお買い上げ頂きましてありがとうございました。本機を安全に能率よくご使用頂くために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

⚠ 注意

- ●取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
- ●取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡しください。
- ●取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
- ●取扱説明書で使用方法に不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

1 各部の名称

①フォーク
②ロードホイール
③シリンダー
④ポンプ
⑤ステアリングホイール
⑥操作ハンドル
⑦ハンドルレバー
⑧表示パネル
⑨計測ライン

2 仕様

仕様は予告無く変更されることがございます。

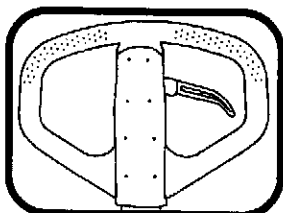
型式	積載荷重 (kg)	フォーク寸法（mm） 長さ	幅	高さ min	高さ max	ｽﾃｱﾘﾝｸﾞﾎｲｰﾙ ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ (mm)	ﾛｰﾄﾞﾎｲｰﾙ ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ (mm)	自重 (kg)	電源 乾電池
THP20SC-D	2000	1150	195	85	200	Φ 180 × 50	Φ 70 × 70	80	単三×４

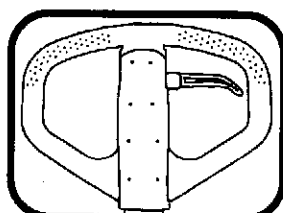
3 安全上の注意事項

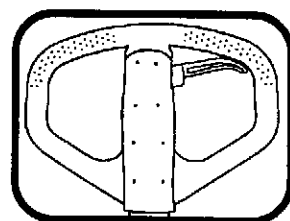
- 訓練や許可のない操作者がパレットトラックを操作しないでください。
- リフターの可動、昇降部分は危険です。絶対に手足を入れないでください。
- 操作の際は車輪に気をつけてください。踏まれて怪我をする恐れがあります。
- 積み荷は片荷や集中荷重にならない様、均等に荷積みしてください。
- 異常を感じたら直ちにお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 液晶表示部の破損により内部から流れでた液体は有毒です。口に入れないで下さい。
- 直射日光や、冷暖房の風の当たる場所で使わないでください。
- 本機を使用前に必ず車輪・ハンドル・昇降装置・計量装置等の点検を行って下さい。
- 本機を運搬される時はフォークリフト等でフォーク底部をすくい水平に運搬して下さい。
- 屋内専用です。屋外でご使用にならないでください。
- 使用しない時はフォークを最低位まで下げてください。
- 傾斜地や滑りやすい場所では使わないでください。
- 計量物の落下などによる衝撃を与えないでください。
- メンテナンス時には、挟まれないよう安全対策を設けてください。
- 許容荷重以上は載せないでください。
- フォークの長さにあったパレット・計量物かどうかご確認ください。
- 正しい計量位置で使用してください。
- 激しい振動や急激な温度変化は破損の原因になります。さけてください。
- 人を乗せないでください。
- 国家検定品ではありません。取引証明用に使用しないでください。
- 本機を改造して使用しないでください。

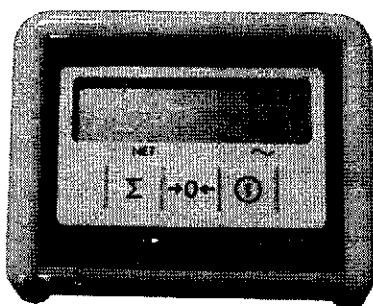
4 使用方法

●昇降装置

上昇

レバーを図の位置に下げ、操作ハンドルを上下に動作させるとフォークが上昇します。

運搬

レバーを図の位置にすることでハンドルを倒してもフォークの位置が変わらず、運搬が楽に行えます。

下降

レバーを図の位置にすることでバルブが開きフォークが下がります。

●計量装置

・電源ＯＮ：Ⓘのボタンを押して下さい。
正しく計測できませんので、フォークの上に何も載っていない状態で押して下さい。

・電源ＯＦＦ：Ⓘのボタンを３秒押し続けると電源が切れます。

⚠注意　・フォークの計測ラインの内側で、左右均等に負荷がかかるようにしてください。正しく計測できません。

・単位変更：計量中にⒾのボタンを押すと「lb」（ポンド）表示になります。数秒後「kg」に戻ります。

・リセット：→0←のボタンを押すと表示を０にリセットできます。

・積算：計量中に∑のボタンを押すと積算されます。リセットする場合は、ボタンを長押しして放すと点滅表示に切り替わりますので、点滅中に再度∑ボタンを押してください。ただし、約２０ｋｇ以下では積算できません。

5 メンテナンス

危険　点検は必ず無負荷の状態にし、内部を点検するときは下降防止安全対策を施してから行ってください。日常点検により万一異常が発見された場合、直ちに運転を停止し原因を調査の上、対策処理を行ってください。

①日常点検

可能な限り毎日点検してください。特に車輪や軸の回転部、ハンドル、フォークの昇降装置には注意を払ってください。フォークは作業終了後一番下に下ろし、荷物を載せないようにしてください。

②グリスアップ

可動部にグリスまたは自動車用オイルを塗布してください。

③オイル

６ヶ月毎にオイルの点検をしてください。オイルの種類はＩＳＯ－ＶＧ４６です。

補充方法：フォークを最低位まで下げ、オイルプラグを外し補充してください。
総量は０．３Ｌです。あふれないように補充してください。
フォークを上げたまま補充すると下げたときにあふれます。

④エア抜き

油圧ユニットを交換する際、空気が入ってしまうことがあります。これはハンドルレバーを上昇位置にし操作ハンドルを上下させてもフォークが上がらない原因となります。
ハンドルレバーを下降位置にし、操作ハンドルを数回上下させると、エア抜きができます。

⑤ポンプの調整

●ハンドルレバーを中間位置にした状態で操作ハンドルを上下させると上昇する場合
調整ねじを時計方向に回し調整してください。

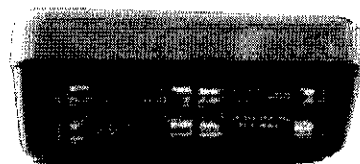
●ハンドルレバーを中間位置にした状態で操作ハンドルを上下させると下降する場合
調整ねじを反時計方向に回し調整してください。

●ハンドルレバーを下降位置にしても下降しない場合
調整ねじを時計方向に回して、ハンドルレバーが上にあがるように調整してください。
その後、中間位置の状態も確認してください。

●ハンドルレバーを上昇位置にした状態で操作ハンドルを上下させても上昇しない場合
調整ねじを反時計方向に回し、操作ハンドルを上下させた時に上昇するように調整してください。その後、中間位置の状態も確認してください。

⑥電池の交換

表示部の裏側にフタがあります。ネジを六角レンチの２．５番で外してください。フタの下側を手前に引きながら下に引っ張ると外すことができます。

・電池のプラス・マイナスを間違えないでください。

6 トラブルシューティング

トラブル	原因	ヒント
フォークが一番上まで上がらない	・オイルの減少	・オイルを補充してください。
フォークが上がらない	・オイルがない ・オイルに不純物が混入 ・開放バルブの調整不良 ・油圧ポンプに空気が混入	・オイルを補充してください。 ・オイルを交換してください。 ・調整ねじを調整してください。 ・エア抜きを行ってください。
フォークが下がらない	・過負荷、偏荷重によるロッドやシリンダー等の部品の変形 ・開放バルブの調整不良	・破損部品を交換してください。 ・調整ねじを調整してください。
オイル漏れ	・シールの摩耗や傷 ・部品の破損	・シールを交換してください。 ・破損部品を交換してください。
自然降下（下降位置ではないのに勝手に下がる）	・オイルに不純物が混じりバルブがしまっていない ・オイルに空気が混入 ・シールの摩耗や傷 ・開放バルブの調整不良	・オイルを交換してください。 ・エア抜きを行ってください。 ・シールを交換してください。 ・調整ねじを調整してください。

品　質　保　証　書

お買い上げ日より１年以内に正常な状態で使用して故障し、弊社がその欠陥を認めた場合には無償修理致します。

お買い上げ年月日　　　年　　月　　日	
型番　□　ＴＨＰ２０ＳＣ－Ｄ	
お客様	ご住所 お名前　　　　　　　　様
販売店	住所 店名　　　　　　　　印 ＴＥＬ

<無料修理規定>

１．取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店が無料修理致します。

２．保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。
　　なお、離島及び遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

３．ご贈答品等で、お買い上げ販売店に修理依頼ができない場合には、本書に記載されている本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。

４．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　（イ）使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、及び損傷。
　（ロ）組立・取り付け不備による故障、及び損傷。
　（ハ）お買い上げ後の場所移動、落下等による故障、及び損傷。
　（ニ）火災・地震・水害・落雷その他天災地変・公害による故障及び損傷。
　（ホ）本書の提示がない場合。

５．日本国以外で使用された場合、すべてに責任を負えません。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。ので保証期間経過後の修理についてはご不明な場合は、お買い上げ販売店または本書に記載の本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。

総発売元 トラスコ中山株式会社
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号
E-mail:techno.center@trusco.co.jp
お客様相談室 0120-509-849

取扱説明書

ＴＨＰ２０ＳＣＤの初期設定

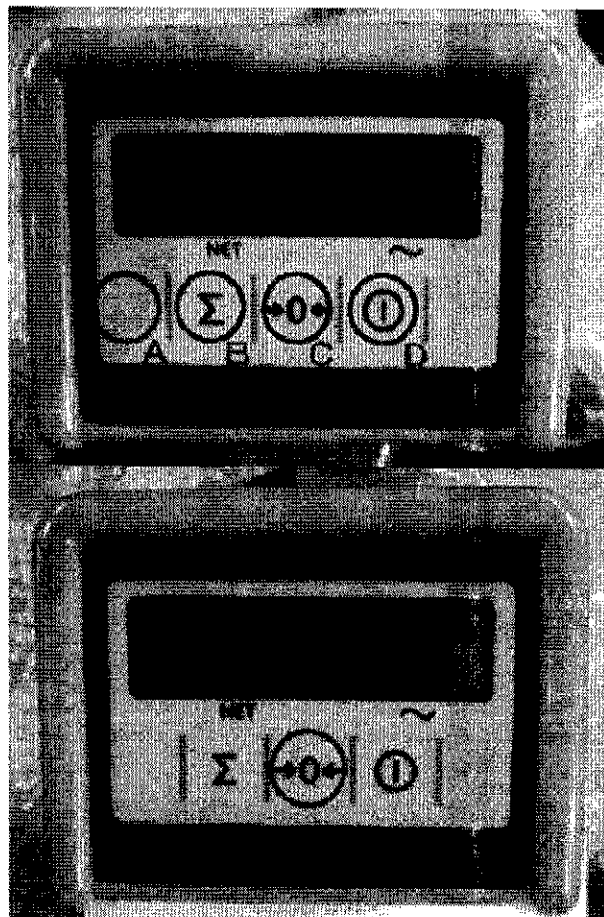
・目的

重力の関係で計量地点の緯度によって、測定値は変わります。日本の北と南では約０．１％の違いがあります。つまり、２０００ｋｇで２ｋｇ誤差が出ます。
以下で説明します初期設定を行うことによって、その地点での１０００ｋｇ、２０００ｋｇに合わせて本機を設定しますので、より正確な計量が行えます。
そこまで、正確な計量を必要とされない場合は出荷時のままでご使用になられても問題ありません。

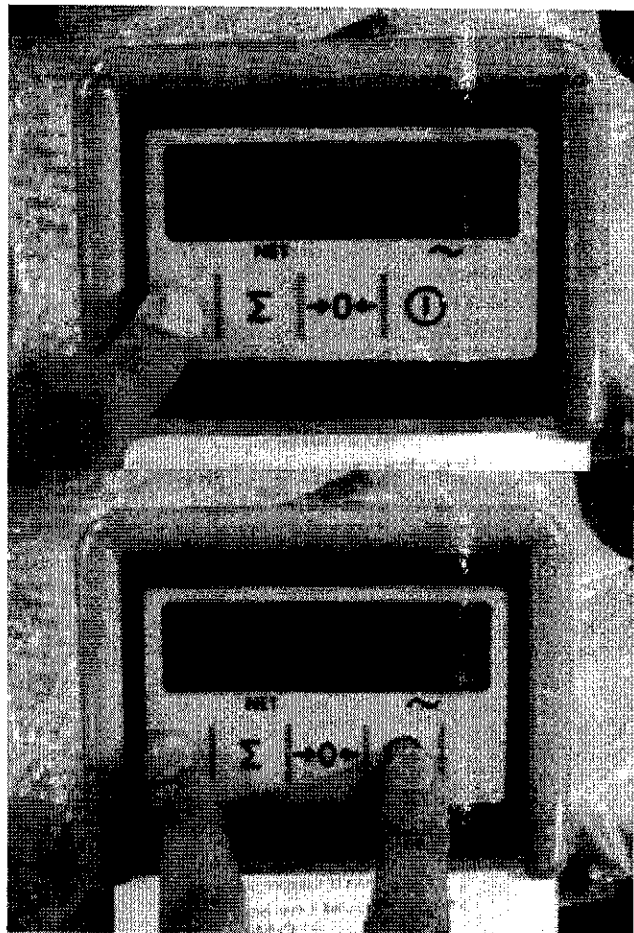
・必要な物

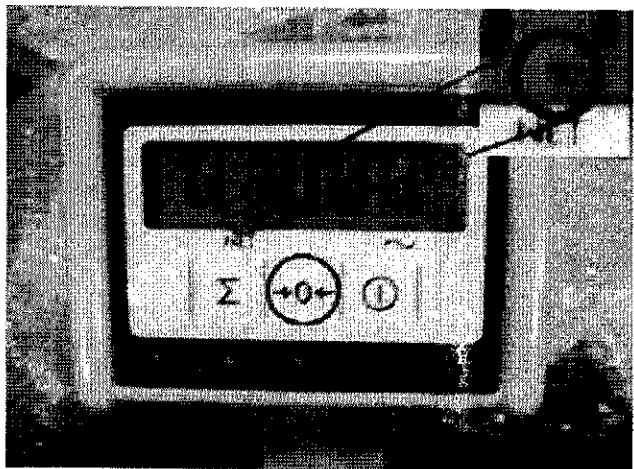
１：正確な１０００ｋｇの重り
２：正確な２０００ｋｇの重り
本機の精度は±２ｋｇですので用意して頂く重りはＯＩＭＬ（国際法定計量機関）のＭ２級（１０００ｋｇ±１６０ｇ、２０００ｋｇ±３２０ｇ）程度を目安にしてください。

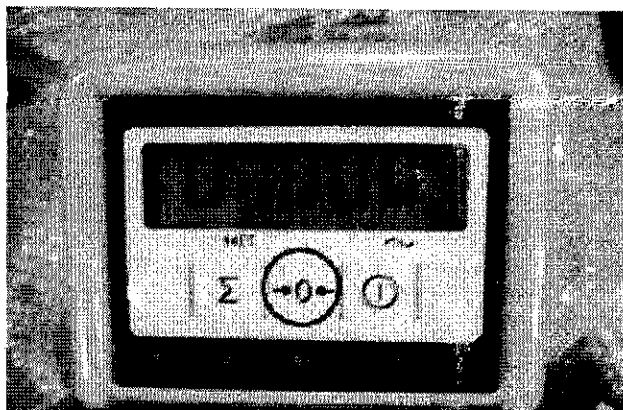
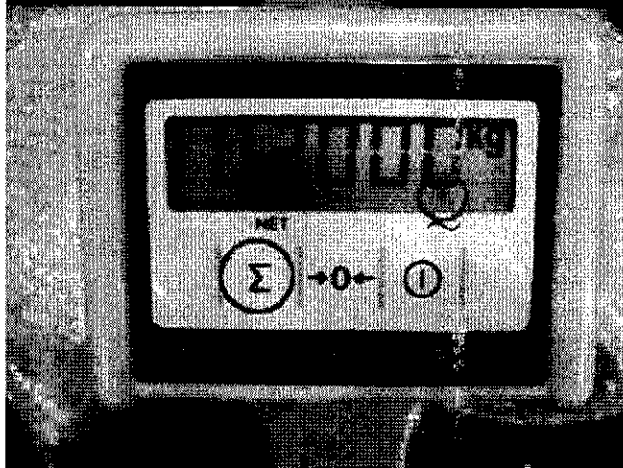
・設定手順

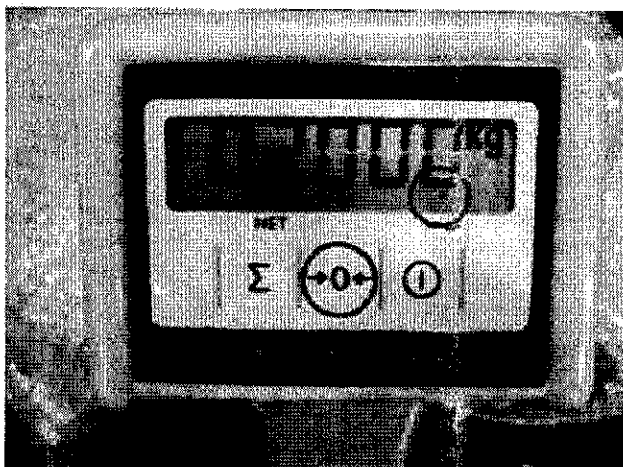
ボタンの番号を写真の通りにつけます。

①電源を入れ「Ｃ」ボタンを長押し（約８秒）押してください。
表示が写真のように変わりカウントダウンが始まります。
カウントダウンが終わると再び［０ｋｇ］の表示に変わります。

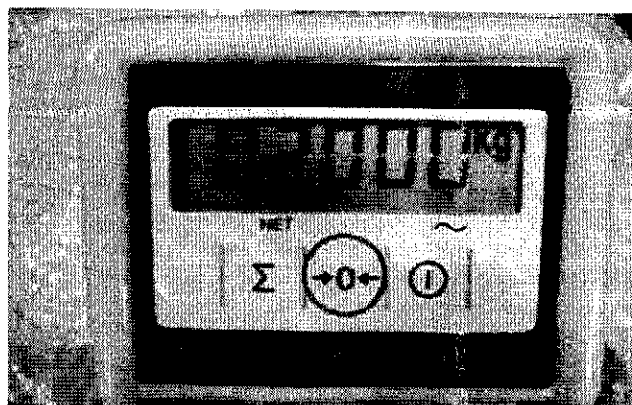
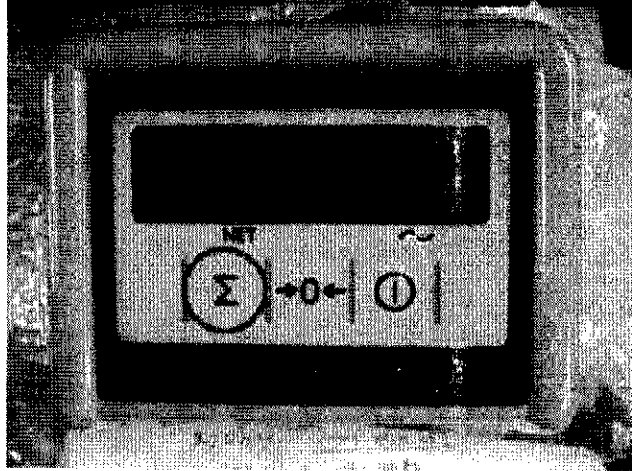
②「A」ボタンを長押し、[0] の表示が消えた後に「D」のボタンを押してください。

表示が［１０００ｋｇ］となります。（場合によっては１５００ｋｇ等になるかもしれません。）
この間「A」ボタンは放さないでください。

③前項で［１０００ｋｇ］以外の表示が出た場合、「C」ボタンで点滅箇所を移動させ、「A，B」ボタンで数字を変え［１０００ｋｇ］に設定してください。

④「C」ボタンで点滅箇所を移動させ写真の［▼］を点滅させてください。

⑤フォークに１０００ｋｇの重りを載せてください。フォークのラインの内側で左右均等に負荷してください。

⑥「C」ボタンを長押し（約５秒）すると設定モードに入りカウントダウンが始まります。カウントダウン終了後、再び［１０００ｋｇ］の表示に変わります。

⑦「B」ボタンを押し［▼］を右に表示させてください。
数字部は［２０００ｋｇ］となります。

⑧前項で［２０００ｋｇ］以外の表示が出た場合、「C」ボタンで点滅箇所を移動させ、「A，B」ボタンで数字を変え［２０００ｋｇ］に設定してください。

⑨「C」ボタンで点滅箇所を移動させ写真の［▼］を点滅させてください。

⑩フォークに２０００ｋｇの重りを載せてください。フォークのラインの内側で左右均等に負荷してください。

⑪「C」ボタンを長押し（約５秒）すると設定モードに入りカウントダウンが始まります。カウントダウン終了後、再び［２０００ｋｇ］の表示に変わります。

⑫「B」ボタンを２回押しＡＰ１２（数字は異なる可能性があります。）と表示させます。

⑬「C」ボタンを長押し（約５秒）すると表示が［２０００ｋｇ］になりますので２０００ｋｇの重りを下ろして終了です。